聖徳大学・聖徳大学短期大学部　ビジネス・フィールド・リンケージ®
第4号（2025年12月22日発行）

「聖徳BFL副専攻プログラム」の魅力を伝える

BFLゼミ通信

「聖徳ビジネス・フィールド・リンケージ（BFL）副専攻プログラム」とは、聖徳大学・短期大学の学生が各学科での学びを通して得られる知識やスキルをビジネスフィールド（実社会）で効果的に活用できるよう組み立てられたBFL科目群であり、ビジネス社会の各領域で実績のあるスペシャリストが事例を示しながら分かりやすくていねいに指導します。

今回は、BFLの授業の中でゲストをお迎えして行われた特別授業を２つと大好評の新科目を１つ紹介します。

01 「顧客価値を創造するマーケティング」特別授業

民間経験を活かし、松戸市に新風を吹き込むキャリアアントレプレナー

ゲストスピーカー：松戸市経済振興部商工振興課 課長 中平治氏



文学部文学科2年の寺田ゆりです。

11月14日（金）に「顧客価値を創造するマーケティング」の第8回として開催された「特別授業」についてレポートします。

ゲストスピーカーは松戸市経済振興部商工振興課の中平治課長で、講演テーマは「民間経験を活かし、松戸市に新風を吹き込むキャリアアントレプレナー」です。中平さんは、大学卒業後、近畿日本ツーリスト、公文教育研究会、ジャルパックと民間企業3社で約20年間、営業・コンサルティングを経験。特に旅行業界では、「組織の中で新しいことを創出する」形のアントレプレナーとして、新たな企画を立案・実行し、事業の変革を試みたとのこと。

42歳の時（2014年）に民間企業職務経験者採用で松戸市に入庁後は、いくつかの部署を経験し、SDGsフォーラムの立ち上げや「SDGs未来都市」認定に貢献。現在は、商工振興課の課長として市内中小企業支援、雇用、商店街活性化に注力し、「考え方」の重要性を説いた稲盛和夫氏の言葉を胸に、価値創造型の行政サービスの開発に取り組んでおられます。

中平さんのポジティブなキャリア形成について詳しく知ることができ、また視野を広げる大学時代の過ごし方についても教えていただき、聖徳生にとって価値ある内容だと感じました。

02 『起業(事業創造)に向けた実践論』(荒木真喜子先生)



履修者インタビュー＜ 三好渚彩⇔松井美憂 ＞



講義内容を教えてください

起業するための基盤となる精神・哲学と起業までの具体的な流れや準備などを学びます！ 知識だけでなく、グループワークなどを通して実際に体験しながら学習するところが特徴です！



受講した理由はなんですか？

春学期に荒木先生、橋本先生、井上先生が担当されていた「戦略的ビジネスプランニング」を受講しました。その際に、荒木先生の講義の説明の仕方がとても分かりやすかったことと、元々マーケティングに興味があったため、マーケティングの部分も学ぶことができると知り受講しました。



受講して興味をもったことや面白いと感じたことはありますか？

身近な事例と比較しながら学べるところです。知識だけではイメージが湧きにくいことでも、身近な企業やお店の事例を紹介してもらえるので、理解しやすく身近に感じることができます。また、自分のバイト先やよく行くお店のビジネスプランを想像したり改善案を考えたりすることもできるようになります。



「実際に体験しながら学ぶ」とはどういったことですか？

主に思考法や分析法などについて、例題を使用して自分で考えたり、グループで話し合ったりします。たとえば、パン屋さんのマーケティング戦略についてSTP分析を用いて、セグメンテーション（対象とする市場区分）、ターゲット（対象とする顧客層）、ポジショニング（市場での自社の位置取り）などを分析・検討するといった実践的なグループワークを行っています。学んだ知識を実際に活用することでて理解が深まるとともに、その難しさや面白さ、自分の思考力がどの程度なのかを知ることもできます。



荒木先生の印象を教えてください！



とても気さくで、「学生に寄り添う熱意あふれる先生」というイメージです！
荒木先生は、ただ教えるだけでなく双方向のコミュニケーションを通じて受講者と教員が一緒に授業を創れるよう様々な工夫をしてくださいます。また、授業外でも学生に声かけて良い関係性を創る努力をされているので、「大学でこんな先生に出会えて良かったと思える先生」です！



岡崎朋美先生授業の位置づけについて

岡崎先生の特別公開授業は、荒木真喜子先生の『起業（事業創造）に向けた実践論』（左ページ参照）と『法律・健康知識で身を守るセルフマネジメント』（山岡篤実先生、雨間慎之助先生、橋本聡恵先生）の合同授業として実施され、両授業の履修者に加え、学内外からの参加者を募り、開催されました。



岡崎先生（左）と荒木先生（右）
授業終了後にお二人で記念撮影

特別公開授業 「どこまでも挑戦！」

ゲストスピーカー：聖徳大学客員教授 岡崎朋美先生



児童学科3年の鴻丸夏海です。12月6日（土）開催のBFL特別公開授業「どこまでも挑戦！」は、目標をもって挑戦し続けることの大切さを学ぶことができる貴重な授業でした。

講師は、長野オリンピックスピードスケート女子500メートル銅メダリストで冬季オリンピック5大会連続出場されたご経験のある岡崎朋美先生。岡崎先生は聖徳大学の客員教授でもあります。

授業では、今も挑戦し続けている岡崎先生ご自身のこれまでの経験談を通して、挑戦することの大切さや困難や失敗があっても乗り越えていくためのヒントを得ることができました。

特に印象に残っているのは、「自分に限界をつくらない」という言葉です。岡崎先生は決断とは自分がすることであり、自分の夢や行動に責任をもつこと、そして挑戦し続ける自分に限界をつくらないことを受講者にメッセージを残しました。この言葉から私は、自分でチャンスを手放すのではなく、「まずはやってみる」ことが自分の成長につながること、そして目標に向かって挑戦し続けることを目いっぱい楽しむことが己を知ることの第一歩にもなると考えました。

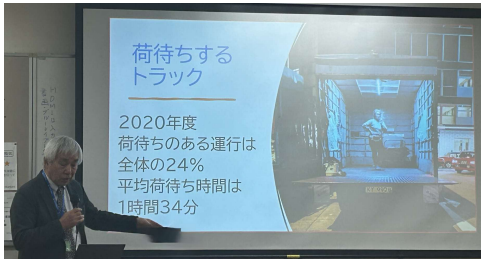


また、授業では実際に長野オリンピックで獲得された銅メダルに触れさせていただき、岡崎先生の挑戦し続けた結晶として実際に重みを感じることができました。

一度きりの人生、私も自分に限界をつくらずやりたいことにはとことん挑戦していきたいと思います。

03 第8回「BFLオープンセミナー」受講レポート

『社会と地球環境をよくする製品・サービスについて知ろう』



文学科2年の渡邉花枝です。11月29日（土）開催のBFL セミナー『社会と地球環境をよくする製品・サービスについて知ろう』は、現代社会が抱える課題について、予備知識がほとんどなくても理解しやすい内容でした。

講師は、日本経済新聞社で販売局マーケット開発部長や販売局次長兼国際販売部長を歴任され、退職後はフリーランスのニュースウオッチャーとして活躍されている中松正樹先生です。中松先生は本学の特命教授として「世界のニュースを読み解く～国際社会問題を知る～」と「SDGsで考える世界の中の日本」を担当されています。

今回のセミナーでは、SDGsの視点から日本が直面している特徴的な社会問題や環境問題について、具体例を示しながらわかりやすく解説していただきました。私が特に印象に残ったのは、社会問題の解決策の1つである移動スーパー「とくし丸」についてです。少子高齢化が加速する日本においては、移動スーパーのようなビジネスモデルが今後ますます重要になります。「とくし丸」は高齢者が多い地域でも安心して暮らせる環境づくりに役立っていて、とても魅力的なサービスだと感じました。



今までSDGs と聞くと大きくて難しい取り組みだと思っていたのですが、今回のセミナーを通して実は身近なところから誰でも始めることができると気づくことができました。私自身も、小さなことから少しずつ行動していきたいと思います。

「BFLゼミ通信」第4号
発行日：2025年12月22日
発行元：「BFL近未来創造ゼミ」
発行人：石井 清人
編集担当：「BFL近未来創造ゼミ」BFL通信制作チーム、石井清人、浅岡伴夫
原稿執筆：寺田 ゆり、渡邉花枝、鴻丸夏海
質問回答：三好渚彩、松井美憂
レイアウト：川上心音、寺田ゆり、中山由姫乃、富田佳暖